

令和4年度 学校経営方針 白杵市立南野津小学校

1 経営の基本方針

白杵市の教育方針「3つのきょう育」を土台として進める『21世紀を生き抜く“白杵っこ”育て』を推進し、「信頼」「共創」「活力」を経営の基盤に据えて、教職員一人ひとりが、強い使命感と情熱をもち、チームとしての教育を進めるとともに、学校・地域・保護者・関係機関がそれぞれの強みを生かした連携をし、「学ぶ力」（生きて働く知識・技能の習得）「たくましさ」（未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成）「誠実さ」（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養）を身につけ、人権尊重・平和を希求する力を備えた南野津っ子の育成を図る。

2 学校経営ビジョン

安心・安全を基盤とし、夢（目標）をもった楽しい学校づくり～チーム南野津【連携・運動】～

信頼される学校	共に創る学校	活力ある学校
<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた計画的な指導と組織的な授業改善の取組 ○誠意の伝わる組織的・日常的な対応 ○積極的に子ども良い面を情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりの「強み」を生かした学校経営への積極的な参画 ○家庭、地域の教育力の活用 ○保幼小中の連携した学びの確立 	<ul style="list-style-type: none"> ○「やったあ」という成就感・達成感のある教育課程の実施 ○夢や願いを基盤とした体験的活動の充実（縦割り班活動を中心にして）

3 学校教育目標

やさしさ・たくましさ・かしこさを身につけた「生きぬく子」の育成

4 めざす子ども像

夢（目標）に向かい、仲間とともに挑戦し続ける力をもった「生きぬく子」

5 重点目標

やさしさ（誠実さ）	たくましさ	かしこさ
学びを生かそうとする 「学びに向かう力・人間力」	未知の状況にも対応できる 「思考力・判断力・表現力」	生きて働く「知識・技能」
仲間と仲良く協力できる子	健康で、最後まで頑張り抜く子	よく（一生懸命）考え、行動する子
◎心が温かく、相手の身になって考え行動することができる ・友だちのいいところや自分のよさを見つける（気づく） ・困っている子を助ける ・感謝の気持ちを持ち、伝える ・自分の気持ちに折り合いをつけ友だちと接する ・ 学びを振り返り、家庭学習にきちんと取り組む（見てなくても）	◎嫌な事でも最後まであきらめず、最善を尽くすことができる ・失敗しても諦めずに挑戦する ・困難から逃げずに立ち向かう ・体育行事の「めあて」に向けて努力を続ける（練習を大切に） ・自分の健康に関心を持ち、規則正しい生活習慣を身につける ・安全に行動できる（防災も含む） ・ 記述問題では回答を必ず書く	◎主体的に学習に取り組み、自分の生活に生かすことができる ・学ぶことの意味を考える ・学習の決まりを守り、人の話をよく聞き、よく考える ・わからないことを知ろうとする ・基礎的な学力を身につける ・対話をしながら考えを深める（ 自分の考えを相手に伝える ） ・ 開始時間を守る

6 教職員の使命感と情熱ある指導

- 一人ひとりのよさや伸びを認め、個性の伸長に努める指導の充実
- 専門職としての使命感をもち、個々の「強み」を生かし合う職員研修の充実
- 成果を見極め続け、情熱とこだわりをもって組織としてやりぬく実践力の伸長
- 保健室と学級の連携強化による「安心・安全」な学校づくり
- 働き方改革の視点を持ち、「これまで通り」ではなく、一歩前進の提案及び実践

7 家庭・地域との協働・連携

- 家庭学習（学年+10分）の習慣化および基本的な生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ごはん）
- 体力増進を図るための徒歩通学の奨励
- 学校公開日、うすきふれあい学校、地域連携行事（「寺子屋まつり」）等の実施・充実
- 学校便り、学級通信などを通して学校の様子を伝え、取組状況、変容を共有
- 「あいさつ」のできる子どもを育成するための家庭・地域との連携（保護者から進んで挨拶）
- 「学校運営協議会」の充実

やさしさ・たくましさ・かしこさを身につけた「生きぬく子」の育成